

第3章 高齢者福祉計画

施策Ⅰ 高齢者の積極的な社会参加

施策Ⅱ 自立生活の支援

施策 I 高齢者の積極的な社会参加

(1) 生きがいつくり活動等の支援の充実

①老人クラブ社会活動促進事業

老人クラブは、今後の地域社会の中で重要な役割を担う組織であり、高齢者の生きがいつくりや健康づくり、奉仕活動等の社会活動を推進していくうえで、積極的な役割が期待されますが、クラブ数、加入者数ともに減少傾向にあります。

老人クラブの役割を維持していくために自主性を最大限に尊重しつつ、老人クラブ連合会、単位老人クラブと連携を図りながら、老人クラブ活動を支援します。

<老人クラブ活動の状況>

	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
クラブ数	58 クラブ	53 クラブ	48 クラブ
加入者数	1,942 人	1,805 人	1,577 人
60 歳以上人口	25,063 人	24,862 人	24,842 人
加入率	7.7%	7.3%	6.3%

※各年度末現在（令和 2 年度は 9 月末）

○老人クラブ数、会員数の減少について、他団体事例を参考に、その支援のあり方を研究します。

②敬老会（式）

高齢者同士がお互いの長寿と健康をお祝いするとともに、高齢者が集い、交流する機会を設けます。

<敬老会の開催状況>

	平成 30 年度		平成 31 年度 令和元年度		令和 2 年度	
	開催地区等	参加者数	開催地区等	参加者数	開催地区等	参加者数
能代地域	式典	195 人	式典	177 人	-	-
	4 地区	313 人	4 地区	310 人	-	-
二ツ井地域	10 地区	594 人	10 地区	639 人	-	-

※各年度末現在（令和 2 年度はコロナウイルス感染予防のため開催しませんでした）

○「敬老会」式典について、参加対象者の年齢や事業内容を見直してきましたが、参加者が年々減少しております。

○式典を継続しながら、開催のあり方や手法等を検討します。

③地域福祉活動補助事業

ボランティア団体等が実施する「在宅福祉の普及・向上に資する事業」「健康・生きがいつくりの推進に資する事業」「ボランティア活動の活発化に資する事業」に対し、福祉基金を財源として補助金を交付します。

<地域福祉活動補助事業の交付状況>

	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
交付団体数	6 団体	5 団体	5 団体
交付済額	2,299 千円	1,916 千円	391 千円

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

※令和2年度はコロナウイルス感染予防のため事業を中止・縮小する団体がありました。

○高齢者等の福祉の増進を図るため、民間団体が実施するソフト事業等を補助します。

（2）生涯学習の充実

「生涯学習の場」や「地域づくり」の拠点として、高齢者施設の利用を促進します。また、公民館、体育館等における寿大学、シルバースポーツの日交流会等の様々な事業の推進を支援するほか、サークル、老人クラブ等の勉強会等へ講師を派遣するなど、高齢者の学習意欲の向上に努めます。

<生涯学習の活動状況>

	平成 30 年度		平成 31 年度 令和元年度		令和 2 年度	
	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数
保坂福祉学園（能代地域）	163 回	2,736 人	148 回	2,865 人	38 回	588 人
松寿大学（二ツ井地域）	5 回	455 人	5 回	441 人	-	-
社会参加活動講演会	1 回	148 人	0 回	0 人	-	-
健康づくりスポーツ大会	1 回	535 人	1 回	441 人	-	-
高齢者芸能発表の集い	1 回	742 人	1 回	615 人	-	-
いきいきふれ愛の集い	1 回	393 人	1 回	377 人	-	-

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

※令和2年度はコロナウイルス感染予防のため開催できない事業がありました。

○生涯学習事業の継続と内容やメニューについて周知を図るとともに、より多くの高齢者の参加促進に努めます。

○地域開催等により高齢者が参加しやすいような事業展開を図ります。

○一般に男性の参加者が女性の参加者よりも少なくなっているため、男性が参加しやすいような事業を検討します。

(3) 高齢者就業の支援

シルバー人材センターは高齢者が地域社会の活動と密接な連携を保ちながら、豊かな経験と能力を生かし、相互協力のもと、働くことを通じて「社会参加」「生きがいの増進」に寄与することを目的として設立されています。会員の自主性・主体性を最大限に発揮させながら、各種事業を推進し、高齢者の就業機会の提供を行っています。また、公共職業安定所等の関係機関と連絡をとりながら高齢者の就労支援に努めます。

＜シルバー人材センターの登録状況＞

	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
登録会員数	321 人	324 人	329 人
男 性	252 人	259 人	265 人
女 性	69 人	65 人	64 人
助成額	8,000 千円	8,000 千円	8,000 千円

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

○高齢者が働くことによる生きがいづくりの場の確保や地域社会へ参加する機会の創出のため、シルバー人材センターの運営を支援します。

〔関連する事業：高齢者雇用対策事業費（商工港湾課）〕

(4) 地域活動参加促進のための環境整備

地域において、元気な高齢者が就労・家事のほか、自治会・町内会等の地域活動の担い手となることや、老人クラブや自主グループ等、社会参加することは、生きがいづくりにつながります。

高齢者が生きがいをもつことは、いつまでも元気で、いきいきと自分らしい人生を送るために大切なことであり、健康寿命の延伸や介護予防になります。

老人クラブ活動、生きがいと健康づくり事業、地域支え合い高齢者等見守り事業等を通じて、高齢者の社会参加意識の醸成を図るとともに、生活支援体制整備事業を推進し、元気な高齢者等が担い手として社会参加できる環境整備を進めます。

○高齢者の自立支援事業や、生きがいづくり事業、生活支援体制整備事業等を推進し、高齢者の社会参加・就労支援や地域の課題解決に向けて支援します。

施策Ⅱ 自立生活の支援

(1) 在宅生活を続けるための支援の充実等

① 高齢者住宅改修助成事業

移動に不安のある要支援・要介護認定を受けた高齢者が、住み慣れた家庭でいつまでも安心して暮らし続けるために、住居を改修する場合に費用の一部を助成します。

<高齢者住宅改修助成事業の状況>

	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
件数	9 件	4 件	2 件
助成額	175 千円	205 千円	244 千円

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

○在宅生活の継続や介護予防のため、事業を継続します。

② 軽度生活援助事業

自立した生活を支援するため、シルバー人材センター等を活用し、一人暮らし高齢者等に日常生活上の軽易な援助を行うための助成券を交付します。

<軽度生活援助事業の利用状況>

	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
交付者数	1,962 人	1,880 人	1,615 人
利用券利用枚数	10,528 枚	9,494 枚	5,856 枚

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

○高齢者の自立した生活を支援するため、事業を継続します。

○主にシルバー人材センターを活用しますが、自治会や町内会にも地域の担い手として協力をお願いします。

③緊急通報装置・ふれあい安心電話事業

■緊急通報装置

一人暮らし高齢者等の急病等緊急時に、迅速かつ適切な対応が図れるよう電話回線を利用した緊急通報装置を貸与します。

<緊急通報装置貸与の利用状況>

	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
利用者数	348 人	320 人	313 人
通報件数	402 件	300 件	175 件
うち緊急	13 件	6 件	2 件

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

■ふれあい安心電話事業

ふれあいコールを行い、安否確認をするとともに、生活不安解消のための相談に応じます。

<ふれあいコールの利用状況>

	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
利用者数	348 人	320 人	313 人
ふれあいコール数	13,695 回	13,078 回	6,017 回

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

○高齢者の安否確認、生活不安の解消のために、事業を継続します。

④訪問理容サービス事業

在宅の寝たきり等で理髪店に行けない高齢者の衛生管理のため、理美容師を派遣して理髪等を行うための助成券を交付します。

<訪問理容サービスの利用状況>

	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
利用者数	48 人	52 人	41 人
利用券利用枚数	142 枚	149 枚	68 枚

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

○在宅の寝たきり高齢者の福祉増進のため、事業を継続します。

⑤高齢者外出支援サービス事業

一般の公共交通機関を利用することが困難な在宅の寝たきり等の高齢者を、移送車両により送迎します。

<高齢者外出支援サービスの利用状況（ニツ井地域のみ）>

	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度
延べ利用者数	684人	672人	271人

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

○外出が困難な在宅の寝たきり等の高齢者の在宅生活を支援するため、事業を継続します。

○利用者の条件や負担等について、事業のあり方を検討します。

⑥家族介護用品支給事業

おむつ使用者を介護する家族に助成券を交付し、おむつ等の購入費の全部または一部を助成します。

<家族介護用品支給事業の利用状況>

	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度
交付者数	1,487人	1,568人	1,587人
利用券利用枚数	11,753枚	12,338枚	6,329枚

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

○家族の介護負担軽減のため、事業を継続します。

○制度の見直しを行う場合は、家族介護用品支給事業の対象者、助成額等の見直しを検討します。

⑦徘徊高齢者家族支援サービス事業【地域支援事業】

徘徊探知機能を有した機器を、家族が購入する場合に、その初期費用を助成します。（初期費用：機器代、加入手数料。使用料は利用者負担。）

○利用実績はありませんが、全国的にも認知症の高齢者は増加傾向にあり、今後の需要が見込まれることと、徘徊高齢者の捜索に有用であることから、事業内容の見直しを行い、事業を継続します。

⑧食の自立支援事業（配食サービス）【地域支援事業】

一人暮らし世帯等で調理が困難な高齢者を対象に、栄養改善指導と安否確認を兼ねて週3回夕食を宅配します。

<配食サービスの利用状況>

	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度
利用人数	159人	151人	129人
延べ配食数	17,020食	15,779食	7,829食

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

○高齢者の食生活の改善、安否確認のため、事業を継続します。

⑨はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業

高齢者の健康の保持と増進を図るため、助成券を交付し、はり・きゅう・マッサージ施術費を助成します。

<はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業の利用状況>

	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度
利用者数	121人	121人	97人
利用枚数	813枚	861枚	513枚

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

○健康の保持、閉じこもりの防止等の効果が期待できることから、事業を継続します。

○利用者のニーズを検証しながら、事業のあり方について検討します。

⑩元気・交流200円バス事業

高齢者が市内の路線バスを上限200円で乗車できる乗車証を発行し、高齢者の外出を支援します。

<元気・交流200円バス事業の利用状況>

	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度
交付者数	4,822人	5,025人	4,973人

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

○高齢者の通院、買い物等生活に即した事業（生活の足）であるため、事業を継続します。

〔関連する事業：生活バス路線等維持費対策事業費（商工港湾課）〕

⑪百歳長寿お祝い事業

市内に10年以上居住し、満100歳を迎えた方の誕生日にお祝い状とお祝い金を贈呈します。

＜百歳長寿お祝い事業の利用状況＞

	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度
事業対象者数	14人	23人	11人

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

○地域の高齢者の長寿をお祝いするため、事業を継続します。

⑫高齢者のみの世帯等の除雪・雪下ろし支援

高齢者のみの世帯等において高齢者が、積雪により外出に支障をきたしたり、除雪等の負担が大きくなるよう、除雪や雪下ろし作業への支援や、除雪ボランティアへの支援を行います。

＜軽度生活援助事業における除雪の利用状況＞

	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度
延べ利用枚数	2,183枚	843枚	-

※各年度末現在

＜雪下ろし費用助成事業の実施状況＞

	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度
助成件数	8件	0件	-

※各年度末現在

＜高齢者等雪対策支援事業の実施状況＞

	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度
助成金額	163件	45件	-

※各年度末現在

○高齢者世帯に対する除雪・雪下ろし支援は、居住安定に係る必要な事業であるため、事業を継続します。

⑬生活管理指導短期宿泊事業

家族の養護が一時的に困難になった場合や、生活習慣の指導、体調調整等が必要と認められる虚弱高齢者が一時的に養護を必要とした場合に、養護老人ホーム等に短期入所させることで在宅の高齢者等の生活習慣の指導、体調調整を行います。

＜生活管理指導短期宿泊事業の利用状況＞

	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
利用人数	3 人	1 人	2 人
利用延べ日数	15 日	3 日	7 日

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

⑭高齢者緊急一時保護事業

地域包括支援センターや関係機関と連携し、虐待等により在宅生活が困難と認められた高齢者を緊急に保護し、その後の生活の場を確保するまでの間、一時的に保護します。

＜高齢者緊急一時保護事業の利用状況＞

	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
利用者数	2 人	4 人	0 人
延べ利用日数	28 日	89 日	0 日

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

⑮高齢者買い物優待事業

高齢者が協賛店での買い物時に介護保険被保険者証等を提示することで、協賛店が設定した高齢者支援サービスを受けることができます。

商店街等で買い物するときに受けられるサービスによって、高齢者の外出機会の創出やコミュニケーションづくりなど、日常生活を活動的に過ごすための支援を図ります。

＜高齢者買い物優待事業の協賛店舗＞

	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
協賛店舗数	23 店舗	24 店舗	22 店舗

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

○事業の周知を図り、高齢者の外出機会を創出します。

○協賛店の拡大に努めます。

⑩その他の生活支援事業の実施・検討

■高齢者いきがづくりボランティアポイント事業の検討

高齢者が地域で介護予防を支援するボランティア活動^(注1)を行った場合や、自らの知識や能力を活かしてボランティア活動^(注2)を行った場合に、ポイントを付与する事業を検討します。

この事業は、高齢者が支えられるだけでなく、役割をもって支える側となることで生きがいを持ち、社会参加による介護予防につなげるとともに、介護人材不足に対応する事業としても取組が求められております。

高齢者いきがづくりボランティアポイント事業の実施について、関係団体と検討します。

注1：サロン、会食、外出の補助、介護施設等でのボランティア活動

注2：レクリエーション等の指導・参加支援、行事等の手伝い（模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露等）、話し相手等のボランティア活動

■地域ニーズにあったサービスの検討

高齢化の進展により、地域や家庭における援助や介護機能が低下してきています。在宅介護実態調査では、在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービスとして、「通院、買い物のための外出同行」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「掃除・洗濯・買い物等の家事援助」の回答が多くなっています。

また、今後の在宅生活の継続に向けて主な介護者が不安に感じる介護としても、「外出の付き添い、送迎等」が23.8%と多くあげられています。

これらのことから、日常的な家事支援と移動に関する支援（外出同行、移送）が必要と考えられるため、関係各課・機関と協議連携しながら、既存サービスの見直し・拡充や新規サービスを検討していきます。

(2) 福祉施設等の整備の推進等

① 養護老人ホーム

満 65 歳以上で、家庭や住宅環境、経済的な理由により在宅での生活が困難な方が入所し、心身の健康の保持や生活の安定のため、必要な対応をしています。入所者が高齢になるにつれて身体機能が低下する場合もあり、こうした入所者にも対応できる施設機能が求められています。

入所者にとっては、施設が生活の本拠となるため、利用者の生活習慣やニーズを適切に把握する必要があります。

本市の養護老人ホーム「松籟荘」の入所定員は 70 人で、ショートステイも併設しており利用定員は 2 名となっています。ショートステイは、生活管理指導短期宿泊事業等の受け入れ先としても活用されております。

市外の養護老人ホームは、視覚障害等のため養護老人ホーム「松籟荘」に入所が困難な方を措置委託しております。

< 養護老人ホームの利用状況 >

[養護老人ホーム松籟荘]	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
松籟荘 (指定管理)	70 人	70 人	70 人
能代市	66 人	67 人	67 人
市外	4 人	3 人	3 人

[市外への措置委託]	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
樹園 (男鹿市)	1 人	1 人	1 人
やまもと (三種町)	1 人	1 人	1 人
聖ヨゼフホーム (奈良県御所市)	1 人	1 人	1 人
津軽ひかり荘 (青森県弘前市)	1 人	1 人	1 人

※各年度末現在 (令和 2 年度は 9 月末)

○指定管理者制度による「松籟荘」の管理運営について指導・監督に努めるとともに、大規模修繕を実施し施設の長寿命化を図ります。

○養護老人ホームの入所相談件数は、年間 10 数件程度あり、実際に入所となる方は年間 10 人程度です。入所判定委員会の専門的・客観的な意見を参考に、入所の可否及び入所順位を決定します。

○養護老人ホームについて、居宅での生活が困難な低所得の老人等に対する受け皿として、必要な定員は確保されており、新たな施設や増床による整備は見込んでおりません。

②老人憩の家「白濤亭」

高齢者の憩いと研修の場として設置され、入浴もできる施設です。

<老人憩の家「白濤亭」の利用状況>

	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
延べ利用者数	16,176 人	15,938 人	6,095 人
1 日平均の利用者数	53.2 人	52.1 人	43.2 人

※各年度末現在（令和 2 年度は 9 月末）

- 指定管理者制度の導入により、サービスの向上に努めています。
- 施設を周知し、新規利用者の確保に努めます。
- 施設の老朽化が進んでおり、大規模改修が必要な場合は廃止する方向です。

③保坂福祉会館松寿園

故保坂民治氏の寄附の趣旨に基づき、高齢者福祉の向上を図るため設置されました。高齢者に憩いと研修の場を提供し、老人クラブ活動の拠点施設となっています。

<保坂福祉会館松寿園の利用状況>

	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
延べ利用者数	9,658 人	9,432 人	2,973 人
1 日平均の利用者数	31.5 人	30.5 人	20.6 人

※各年度末現在（令和 2 年度は 9 月末）

- 指定管理者制度の導入により、サービスの向上に努めています。
- 施設を周知し、新規利用者の確保に努めます。

④能代ふれあいプラザ「サンピノ」・高齢者友愛センター

能代ふれあいプラザ「サンピノ」は、在宅福祉の拠点（老人デイサービスセンター等）、中心市街地への定住化の促進（市営住宅）、世代間交流の促進（保育所・高齢者友愛センター）を目指して建設された複合施設です。

高齢者友愛センターは、高齢者の生きがいと健康づくり活動や高齢者の交流促進等のほか、介護予防事業にも活用されています。

<高齢者友愛センターの利用状況>

	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
利用者数	7,695 人	7,835 人	3,023 人

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

○施設の大規模修繕を実施し施設の長寿命化を図ります。

⑤高齢者ふれあい交流施設「ゆっちゃん」

「ゆっちゃん」は、高齢者の健康増進や交流促進等を図るために設置された施設です。温泉を活用した入浴施設で二ツ井地域における高齢者の健康づくりや生きがいづくりの拠点として活用されています。

まちなかに位置しており、地域の商店街とも連携し、より多くの方々に利用される運営に努めます。

<高齢者ふれあい交流施設「ゆっちゃん」の利用状況>

	平成 30 年度	平成 31 年度 令和元年度	令和 2 年度
利用者数	61,785 人	63,255 人	23,823 人

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

○高齢者に交流の場を提供することにより、閉じこもりや孤立を解消する効果が期待できます。また、温泉入浴により健康増進を促進します。

○高齢者以外の市民にも開放することにより、世代間交流を図ります。

⑥生活支援ハウス

高齢等のため独立して生活することに不安のある一人暮らし及び夫婦のみの世帯に対して、一時的に居住の場を提供します。

高齢者に対して、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供しております。利用定員は10名です。

<生活支援ハウスの利用状況>

	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度
実人数	7人	8人	8人
延べ利用人数	11人	9人	8人

※各年度末現在（令和2年度は9月末）

○高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援します。

○生活支援ハウスについて、おおむね必要な定員は確保されており、新たな施設整備や増床の整備は見込んでおりません。